

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和6年度 東中だより 第20号	発行日	令和7年3月25日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【修了式の校長講話】

令和6年度は本日で終了します。今年度、授業や行事などを通して、みなさんは心も体も大きく成長しました。とてもうれしいことです。(中略)

先日の3月14日に3年生 245 人が本校を卒業し、新たな道に進んでいきました。とても、立派な卒業式で、私自身、卒業生から多くの感動をもらいました。また、多くの来賓の皆様もとても感動されていました。在校生の代表の送辞も、とても素晴らしく、堂々と述べてくれました。3年生の答辞の時には、多くの3年生が涙を流していました。また、久しぶりに全校生が一堂に介して、校歌を歌うことができました。校歌は学校にとってとても大切なものです。東中学校の永い歴史や伝統がつながっていると感じました。3年生が築きあげてくれた東中学校の良き伝統を受け継ぎ、さらによい学校となるよう先生方と協力して築いていきましょう。



2つ目は、皆さんが持っている可能性を引き出す話です。「年々歳々花相似(ねんねんさいさい はなあいに)たり。歳々年々人同(さいさいねんねん ひとおなじ)からず」という言葉があります。(中略) 厳しい冬の寒さを乗り越えたら、必ず綺麗な花咲く春がやってきます。そうした自然の営みは、毎年変わることなく必ず、繰り返されます。しかし、私たちは、1年というサイクルを繰り返しているように見えても、「去年の自分と今年の自分はまったく同じ」ということは決してありません。(中略) 担任の先生から渡される通知表の所見をすべて読ませていただきました。皆さんの成長を強く感じました。所見に、最も多く記載されていたものは、「・・・ができるようになりました」「一生懸命に取り組んでいました」「・・・の中心的存在でした」など、皆さんが一生懸命にがんばっていた姿や、大きく成長したことがわかる内容であり、とてもうれしく思いました。来年度もさらに大きく成長することを期待しています。

(中略) がんばっても努力しても、自分は中々、結果が出ないと相談されたことがあります。中々、結果が出ない時は、誰でも心が折れそうですね。私は、

孟宗竹という竹の話をしました。この竹は、種を蒔き、毎日水をあげても中々、芽がでません。いつか、いつかと長く待つこと5年、ある日、突如として芽を出します。それから嘘のように急激に竹は伸び、1日、2日で1m以上も成長し、一気に20～30mの高さまで伸びる成長を見せます。この竹を掘り返すと、その根の長さは何と1000m以上にもなっています。この竹は、5年間、芽を出すまでに、何もせずじっと閉じこもっていたのではなく、誰にも見えない場所で、誰にも見えない成長をしてきました。燦々と照りつけるととても暑い日や嵐の日にも耐え、成長して芽が出るその日まで、未来の自分を支える力を蓄えていたのです。(中略) 毎日のほんの少しの努力を続ければ、大きな力になります。小さな努力を習慣化させ、みなさんがさらに大きく成長することを期待しています。(略)

【部活動等の表彰】(※ 団体、個人で表彰されたものののみ)

- ＜伊丹新人大会＞ 個人 優 勝 砲丸投、円盤投：陸上
第二位 110mH：陸上
- ＜阪神新人大会＞ 団体 第三位 男子バドミントン部
個人 第二位 男子バドミントン
第三位 男子バドミントン
- ＜伊丹市民スポーツ祭＞ 団体 第二位 ソフトボール部
個人 第三位 男バドミントン、女バドミントン
- ＜伊丹冬季大会＞ 団体 第二位 女子バスケットボール部
第三位 女子バレーボール部
- ＜伊丹春季大会＞ 団体 優 勝 男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部
個人 第二位 女子ソフトテニス
第三位 男子ソフトテニス
女子ソフトテニス
- ＜学年別大会＞ 個人 第三位 2年の部、1年の部：男子剣道
- ・第22回伊丹市こども市展 優秀賞 2名
入 選 4名
- ・2024 佛山市国際友好都市青少年絵画コンテスト
第1位、第3位
- ・伊丹市児童・生徒顕彰 受 賞 1名
- ・伊丹市教育委員会賞 受 賞 1名
- ・実用英語技能検定 2 級 1名
準2級 6名
- ・日本漢字能力検定 準2級 1名
- ・ユネスコ世界寺子屋運動 感謝状 伊丹市立東中学校